



山と川と湯の里 関川村



プロフィール

面 積 299.61平方キロメートル
 人 口 6,568人（平成23年12月1日現在）
 世帯数 2,031世帯（平成23年12月1日現在）
 役 場 〒959-3292
 新潟県岩船郡関川村大字下関912番地
 T E L (0254) 64-1441
 F A X (0254) 64-0079
 U R L <http://www.vill.sekikawa.niigata.jp/index.html>

1. 関川村の概要

関川村は、新潟県の県都新潟市の北東約60kmにあり、山形県置賜地方に隣接しています。村の中央に流れる清流「荒川」は、平成の名水百選（2008年）に選ばれました。飯豊連峰、朝日連峰に囲まれ、新緑や紅葉など四季折々の景



清流荒川

観を楽しめます。また村には、5つの温泉が湧き「えちごせきかわ温泉郷」を形成しています。

2. 関川村のみどころ

【18世紀のまち並み】

旧米沢街道の面影をのこす越後下関柳とせせらぎ通りは、「美しい日本の歴史的風土100選」に選ばれました。

国指定重要文化財の渡邊邸は3,000坪の敷地に500坪の大邸宅で、珍しい石置木羽葺屋根撞木（いしおきこばぶきやねしゅもく）作りになっていま

す。

その並びには、国指定重要文化財の佐藤邸や県指定文化財の津野邸などが並び美しい景観を形成しております。



渡邊邸

【荒川峡もみじライン】

関川村があでやかに色を染める、秋。磐梯朝日国立公園内を荒川に沿って走る国道113号線も、「荒川峡もみじライン」の名にふさわしい景観につつまれます。

木々が描き出す美しいアートは、空と清流の青さに引き立てられ、息をのむほどです。

（見頃10月下旬から11月中旬）



荒川峡もみじライン（鷹の巣吊橋）

【えちごせきかわ温泉郷】

えちごせきかわ温泉郷は、関川村にある5つの温泉地から成ります。高瀬温泉（たかせおんせん）、

鷹の巣温泉（たかのすおんせん）、雲母温泉（きらおんせん）、湯沢温泉（ゆさわおんせん）、そして桂の関温泉（かつらのせきおんせん）です。清流荒川に沿った温泉地はそれぞれ特徴があり、また豊かな自然が織り成す四季折々の美しい眺めを楽しむことができます。さらに、山菜・キノコ料理や、イワナ・アユなどの川魚料理も存分にご堪能いただけます。



リニューアルオープンした日帰り温泉ゆ〜む

3. 関川村のイベント

【大したもん蛇まつり】

昭和42年8月28日に発生した羽越大水害と村に伝わる「大里峠（おおりとうげ）」という大蛇伝説をテーマに、昭和63年から村民のまつりとして行われています。

メインイベントに登場する大蛇は長さ82.8m、重さ2tの大蛇は村民の手作りで、竹とワラで作った世界一長い蛇としてギネスブックに認定されています。毎年8月下旬に開催され、大蛇パレードのほかにも灯籠流し、花火大会、盆踊り大会、喜っ喜（きっき）大会（ジャンケン大会）、福まきなどが行われます。



大したもん蛇まつりのパレード

【堀と柳のまつり】

渡邊邸周辺の下関柳とせせらぎ通りを会場として、春（5月）と秋（10月）に行われるイベント。フリーマーケットや、通常非公開の建造物を公開する街並見学も開催。秋まつりではヨサコイソーランの演舞、同日開催の農林業まつりで盛り上がります。



街並見学（写真は村長がガイドしております。）

4. 関川村の特産品

猫ちぐらは、コシヒカリの稲ワラを材料とする米どころ関川村ならではの民芸品です。

一番大きなものは約10日間の時間をかけて丁寧に編みこまれ、その手作りの温もりある仕上がりが、多くの愛猫家から親しまれているほか、家庭のインテリアとしても好評です。

また、愛犬家の犬ちぐらや、ご飯を保温するおひつ入れ、円座、なべ敷きなどがあります。

（価格ミニ5,000円～特大18,000円）



猫ちぐら